

還付金詐欺に最大限の警戒を！！



12月に入り、還付金詐欺の電話やお金をだまし取られる被害が多く確認されています。

昨年、令和2年中の還付金詐欺被害9件のうち7件が12月に発生しています。今年も12月8日現在で既に7件のお金をだまし取られる被害が発生しており、**20件以上のアポイント電話が確認**されています。

還付金詐欺の手口

犯人は、市町村職員や金融機関職員をかたり、介護保険料や医療費の還付金を名目として

- 還付金の請求期限が10月末までだったが、通知の郵便は届いていないか
- 今日中なら返還手続きが間に合う
- コロナの関係で金融機関窓口で手続きできない
- ATMで手続きができる

などと申し向けて、被害者を自宅近くのATMに誘導し、**携帯電話で会話しながら、ATMの操作を指示し、現金を振り込ませます。**



お金を受け取るはずがなぜ？

なぜ詐欺被害に遭ってしまうのかというと、犯人は、「あなた(被害者)の口座にお金を振り込む手続き」と言って、実は、

「自分(犯人側)の口座にお金を振り込ませる手続き」

を案内しているからです。

この手口は、ATMの操作に不慣れな高齢者を狙った悪質な手口です。

警察庁の【還付金詐欺】特設ページ！犯人の音声を公開中！

Check



還付金詐欺の対策

迷惑電話防止機能付き 電話機の設置



『警告・録音』の機能で、不審電話をかからないようにする効果が期待できます。

県と市町村が購入補助事業をしています。ご興味のある方はお住まいの市町村へお問い合わせください。

ストップATMでの携帯電話 運動のすすめ



犯人は、「あなた(被害者)の口座にお金を振り込む手続き」と言い、「自分(犯人側)の口座にお金を振り込ませる手続き」を案内しています。

だからこそ、ATMでの電話をしないことで、被害に遭わない・だまされないことに繋がります。



おうちの防犯対策を見直しましょう!



年末・年始は、実家に里帰りなどで家を不在にする機会が増えるほか、普段より現金を多く自宅に置いていることが多く、泥棒に狙われやすくなります。そこで、年末・年始の前に自宅の防犯対策を見直しておきましょう。

泥棒に狙われにくい家とは…

① しっかり鍵がかけられている

一番大切なことは、確実に戸締まりをすることです。

出かける前にはしっかりと自宅の全ての鍵がかかっているかを確実に確認しましょう。

高窓や2階以上に設置された窓などもしっかり鍵をかけ、侵入されないように気をつけましょう。もともとついている鍵以外に、ホームセンターなどでも手軽に購入することができる、『補助錠』をつけると、更に安全です。



② 防犯環境が整備されている

● 防犯カメラの設置

防犯カメラを設置することで、泥棒を威嚇する効果があるのはもちろん、万が一、侵入されても泥棒の顔などを映すなどして、犯人検挙に役立ちます。

● センサーライトの設置

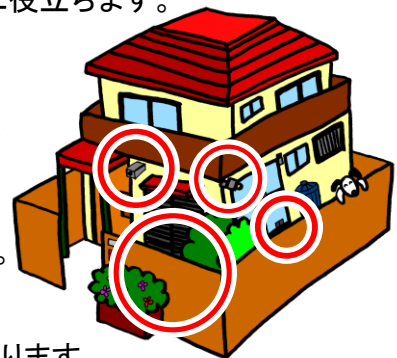
夜間、自らを照らしてくれるだけでなく、泥棒が家に近づいた時に光で泥棒を威嚇してくれる優秀なアイテムです。

● 砂利を敷く

侵入時に庭を歩く音がするため、泥棒が侵入しにくくなります。

● 庭の木々を手入れ

周囲から気づかれやすくなり、犯行に及びにくくする効果があります。



しっかりと防犯環境を整備すれば、

「防犯意識の高い家」として認識

され、狙われにくくなります。

不在時には不在を悟られない対策を…

自宅を不在にしても、

◎ 自宅内の照明を点けたままにする

◎ 不在の期間は新聞等を止め、ポストに新聞がたまらないようにする
などひとめ見て自宅が不在だと悟られない対策も効果的です。



本年中の警察活動各般にわたる御支援・御協力ありがとうございました。